

日本臨床発達心理士会 大阪・和歌山支部  
第9回 紀南研究会 子育て・子育て研修会

参加費  
¥500

**「学習」が始まるまでに  
身につけておきたい力**  
～「気になる子」に対する保幼小の連携とは～

講師 **宮本 直美 氏**  
大阪千代田短期大学 幼児教育科 講師

**【日時】** 2020年6月7日(日) 10:30～12:00 (受付10:00～)

**【会場】** 和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー  
和歌山県田辺市新庄町3353-9 Tel.0739-26-4111

**【参加対象】** 臨床発達心理士(更新ポイント 0,5)  
一般(行政、小学校・幼児教育・保育施設職員、テーマに関心のある方)

**【講師の先生より】**

日々の園生活を過ごす中で、「あの子なんだか気になるなあ…」という子どもたちがいます。一つの事にこだわってしまう子、先生の話やお友達の話を聞いていないように見える子、言葉がなかなか出てこない子、中には、大きな事故や災害により不安定になっているお子さんもおられるかもしれません。私たちはそのような時、子どもたちに寄り添いながら、一人一人に適切な援助を行っていく必要があります。気になる子どもたちも、やがて小学校に入学します。小学校では集団での授業による「学習」が始まります。「学習」では読むことや書くことが重要になり、読み書きにつまずく子どもたちがでてきます。学年が上がり「学習」が進むほど、困難さが明らかになります。実は、読み書きに困難のある子どもたちは、幼児期から文字に関心を持たないなど、読みに関する課題を持っていることがあるのです。「気になる子」への支援を園としてどの様に取り組んでいけばよいのか、また、小学校への引継ぎをどの様に行えばよいのかについても、事例に基づいて皆さんと一緒に考えていきたいと思ます。

**【主催】** 日本臨床発達心理士会 大阪・和歌山支部  
**【後援】** 和歌山県・和歌山県教育委員会・田辺市

**お問合せ**

日本臨床発達心理士会 大阪・和歌山支部  
Mail : hanwa@jacdp-kansai.or.jp  
URL : <http://www.jacdp-kansai.org/>